

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	中間 康博 (なかま やすひろ)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	大学院 人間科学研究科 修士課程 2 年生
発表年月 または事業開催年月	2024 年 8 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	日本建築学会大会【関東】 明治大学駿河台キャンパス
発表者(※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	発表者：中間 康博 共同発表者：小島 隆矢、伊丹 弘美、松尾 綾子
発表題目(※学会発表の場合のみ記載)	ZEH 仕様の戸建て住宅購入に関する消費者意識調査 ーその 2：ZEH と非 ZEH の戸建て注文住宅に関する入居者満足度調査ー
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>【概要】</p> <p>本研究では、「第 6 次エネルギー基本計画」による ZEH 政策の実現可能性を検討している。過去 5 年以内に戸建て注文住宅を取得・入居した人を対象に入居者満足度調査を行い、ZEH/非 ZEH の比較などについて分析し、結果について考察した。</p> <p>【成果】</p> <p>本報では、ZEH および非 ZEH (ZEH 以外の一般住宅) の戸建て注文住宅取得者 (ZEH:82 名, 非 ZEH:95 名) への満足度調査を行い、ZEH 購入にかかわる実態や、入居後年数の経過に伴い ZEH と非 ZEH で満足度に差が生じる因果過程について成果を得た。</p> <p>(1) 「実際の購入者」からの回答を通じて、リアルな住宅購入動機や入居後の満足度実態を把握することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH 購入決定：「販売業者からの説明」要因が大きいと思われる。 ・ ZEH コスト：消費者の理解は十分でない。非 ZEH との価格差を試算することは難しいと思われる。 ・ 補助金の増額施策：消費者は ZEH コストの認識が薄い。絶大な普及効果をもたらすとは言い難い。 ・ ZEH 購入の入居後評価：入居時の実感としては災害時の備えが最も高かった。 <p>(2) 購入住宅の満足度に関する因果モデリング結果より、居住年数の違いによる消費者意識を確認することが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ZEH に対する個別満足：居住年数が 3 年以上経過した後に評価が高まっている。これは ZEH の効果が数年にわたる生活を通じて実感されたものと考えられる。 ・ 個別満足が総合満足へ与える影響：遮音性能は (3~5 年/入居者) が高い評価を示している。遮音性能については、数年にわたる生活の中で実感されてきた結果ではないかと考えられる。 <p>https://onsite.gakkai-web.net/aij/contents/data/pdf/40076.pdf</p>	

※無断転載禁止